
転生した女神の物語・2

鈍色満月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

転生した女神の物語・2

【Nコード】

N7015Y

【作者名】

鈍色満月

【あらすじ】

燃え盛る王宮から、脇に子供を連れて逃げ出してから、はや三日。<私>に縋り付いて来た美貌の貴婦人はその王国の王妃様で、連れて来た子供達は王子様方で会ったらしい。

かつて『神』としての私がいた世界に引き戻されたく<私>は、鄙びた国外れの農村で、王子様と今後の相談をしていた。
「転生した女神の物語」の続編です。

（前書き）

続きを書きたくなりましたので、つい続きを。

七柱の色を担う神と、一柱の失われし神によって作られたとされ
るとある世界。

神々によつて創造された人間達は、各々長とする慕う者の元でそ
れぞれの国を建てた。

長い、それこそ気が遠くなりそうなまでに長い年月と無数の淘汰
の果てに、今現在残っている国の数は十。

しかしながら一昨日に、国々の数は九へと減る。

創造の二神たる夫婦神と、彼らの末子たる失われし神を信仰
する小さな王国。

美貌の王妃に横恋慕した隣国の狂王の手によつて、その小さな国
が滅ぼされてしまったからだ。

「成る程……。そんな昼ドラマみたいな事って本当に起こりえるんだ
ね」

「……ひるどらつて、なんだよ」

滅ぼされたかつての小国の片隅。

物々しく武装した兵士達が肩で風を切りながら闊歩する様を見つ
めながら、汚れたフードで顔を隠した人影がぼつり、と呟く。

その隣には人影と同じ様な格好をした小さな子供が腕に赤子を抱
いた姿で立っていた。

「<私>のいた世界で、奥様方に大人気だった娯楽番組の一つだよ」
「……お前の言う事は、わたしにはさっぱりだ」

腕の中でぐずり出した赤子をあやししながら、子供が不満そうに呟く。
人影同様に、汚らしいフードの下に隠された子供の顔は、はっとする程美しかった。

薄汚れてはいるものの、薔薇色の輝きのふつくらとした頬。
さらさら、と身動きする度に揺れる、眩い程の輝きを放つ金の髪。
年に似合わぬ深い憂いと悲しみを宿した群青色の双眸。

今でも美しいが、このまま成長したら更に美しさを増す事間違いないな美貌は、<私>の目の前で無くなった王妃に瓜二つであった。
目の前で母親を亡くし、暴れる王子を掴んで燃える王宮から逃げ延びたのはつい一昨日の事。

ぐるり、と王宮を囲む様な深い森を抜け、走って走って、ようやく国外れの鄙びた村に辿り着いた。

ようやく安全と脳が理解した時、それまで不眠不休で走り続けて来た<私>の足はもう走れなくなった。

親切な村人に助けられ、村の隅の空き家にお世話になってから、
<私>は抱えていた王子にこれまでの経緯を尋ねたのだ。

最初は固く口を噤んだまま、一言だつて喋ろうとしなかった王子だったが、だつたら勝手にすればと見捨てかけると慌てて<私>に縋り付いて来た。

母を亡くしたせいと私に抱えられたまま一昼夜走り抜けたのもあって、満足に泣けなかったらしい王子はそれこそ堰が崩壊する様な勢いで泣いて、ついでに彼の腕の中の赤子も泣いて、中々大変だった。

「それで？ これからどうするのさ、王子様？」

「どつて……。お前こそどうするつもりなのだ？」

幼いながらも聡明な輝きを宿した双眸が＜私＞を見つめる。

王子が抱く幼い赤ん坊も、兄に同調する様、じつとつばらな瞳で＜私＞を見上げていた。

「契約は契約だからね。あの王妃様にも、あんた達の事頼まれちゃったし」

“妾の子供達を守って……！”と、それこそ血を吐く様な嘆願の声は＜私＞の耳にこびりついたまま離れない。

「取り敢えず、あんた達の国と懇意な他国にでも連れて行くのが一番ね。」

上手くいけば、亡国の王子王女という事で守ってもらえるでしょう」

そうしたら、地球に帰るための方法を探そうと、＜私＞は一人考えを馳せる。

この世界も愛しいが、＜私＞が戻るべき世界は神であった私のいた世界ではなく、人である＜私＞がいる世界なのだから。

そんな事を考えながら、じつと空を見上げていた私は、側に立つ王子が無表情で私を見つめていた事に気が付かなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7015y/>

転生した女神の物語・2

2011年11月21日09時42分発行